

3 保護者ができる3つのポイント

● まず、保護者自身が気を付けること

お子様は保護者の行動を見て、学び、育ちます。お子様の適切なインターネット利用は、お子様を取り巻く**大人のインターネット利用や取り組む意識**にかかっています。お子様とともに、**保護者自身**がインターネットに関する知識・技術、情報モラルやコミュニケーション能力を**それぞれ身につける**ことが重要です。

お子様だけでなく保護者自身も、**日常のモラル・ルールに加え、インターネットの特性とリスクを理解**して、適切にインターネットを利用を心がけましょう。また、**困った時に気軽に相談**できるように**保護者同士で情報交換**をするとともに、**専門機関や相談窓口を確認**しておきましょう。



● インターネットの特徴とリスク

公開性

インターネットは世界中に開かれているため、誰に見られているかわからない。

公共性

インターネットは仲間うちだけの空間ではなく、いろいろな人が利用する公共の場。

信憑性

情報や発言の真意が不明なこともあるため、自分で確認・判断することが必要。

記録性

情報は誰かにコピーされ、広がり続ける可能性があるため、完全には削除できない。

侵入の可能性

自分の機器やIDが悪意ある人に不正使用されて、大切な情報が盗まれる恐れがある。

追跡性

警察はアクセスログから情報発信元を特定できる。一般の第三者でも個人を特定できる可能性がある。

(1) トラブルや事件に巻き込まれないように、適切にインターネットを利用させましょう。

● ネットデビュー ～初めてインターネットを利用させる場合

危ない使い方をしたり、トラブルや事件に巻き込まれたりしないように、インターネットを適切に利用するための**知識・技術、情報モラルやコミュニケーション能力**を親子で身につけましょう。

● 新しい機器をお子様にしたせる前に

お子様の成長に合わせて、インターネットを利用させることが大切です。お子様に機器を持たせる前に、まず、**何のために必要なのか、どのように使うのか、目的やルールを話し合**いましょう。

単なるプレゼントやご褒美で、安易に与えてしまうのではなく、**目的を明確**にしましょう。また、**機器を持たせる前に、フィルタリングやペアレンタルコントロール機能を設定**しましょう。例えば、**お子様向けに機能を制限した携帯電話**などを使用することも有効な手段の一つです。

小型で軽量の**モバイル端末**は、自由に持ち運んで利用することが可能です。**保護者の目が行き届きにくくなる**ため、お子様の成長に合わせて、使用させましょう。

保護者のモバイル端末を**一時的に貸す**場合は、お子様の年齢や利用に合わせて**インターネット接続機能を制限**し、設定変更や決済などを行わないように**パスワード管理**をしましょう。また、**アドレス帳などの保護者の個人情報**にはロックをかけるなど、**適切に管理**しましょう。**使わなくなった機器は、初期化する**か、ID、パスワード、アドレス帳、不要アプリなどを削除し、**適切な環境を整えてから**与えましょう。

● 持たせ始めが肝心

利用する機器やサービスの「**初期設定**」は、必ず、保護者が行いましょう。また、トラブルに遭っていないか、**過度の長時間利用**になっていないかなど、**こまめに利用状況を確認**しましょう。

お子様専用機として持たせる場合も、**保護者が管理する機器を使わせているという意識付け**をすることは**有効な方法の1つ**です。**保護者の見守りが必要な機器**であることを、最初にしっかり伝えましょう。

● 少しずつ利用できる範囲を広げる

お子様がどの程度インターネットを使いこなす**知識・技術、情報モラルやコミュニケーション能力**をそれぞれ身につけているかを見極めましょう。そして、その成長に合わせて、持たせる機器やフィルタリングの設定などを見直して、**インターネットを利用させる範囲やサービスを広げて**いきましょう。



フィルタリングやペアレンタルコントロール機能は、**保護者の目が届かないところでインターネットを利用する際に、保護者と決めたルールの下で安全に安心して利用**できるよう、**お子様を見守るツール**です。フィルタリングで制限されてしまうサイトやアプリを使いたい場合でも、特定のサイトやアプリだけ利用できるように「**カスタマイズ**」することが可能です。**お子様を信頼すること、安全を保つこととは、別問題**。フィルタリング自体の解除ではなく「**ゆるめる**」対応をしましょう。

(2) 適切な生活習慣が身につけられるように、家庭のルールをお子様と一緒に作りましょう。

● ご家庭の利用状況に合わせて、お子様と一緒にルールを作りましょう。

チェックを入れて確認してみましょう。

お子様が使おうとしているサービスを一緒に見てみましょう。
一緒に見ることで、懸念されるリスクについて確認することができます。

お子様と話し合ってルールを作りましょう。
なぜルールが必要なのかを、お子様が理解することが大切です。ルールを一方向的に押し付けるのではなく、**お子様の実際の使い方**を聞きながら、**インターネットを使う目的をはっきりさせ**ましょう。

お子様の利用状況を確認するルールを作りましょう。
お子様の利用履歴を勝手にチェックするのではなく、**お子様と一緒に確認**し、問題がないか話し合しましょう。

ルール違反があった場合、次にどうすれば違反しないかお子様と一緒に考えましょう。
保護者預かり、リビング以外での使用禁止など、**ルール違反をした場合の罰則**を事前に決めておくことで、自分をコントロールする力と、**ルールを守る責任感**が生まれます。次に違反しないように話し合しましょう。

トラブルのときはすぐに保護者に相談するよう話しておきましょう。
お子様から相談を受けたときに、慌てないように、事前に対応方法や相談窓口を確認しておきましょう。

友達の保護者と連携しましょう。

コミュニケーションアプリなど、グループ内でのメッセージのやり取りが増えたことで、**子ども達同士のトラブル**が発生しています。**保護者同士で情報交換し、子ども達同士のルール**を作るなど、**学校、学級、地域で連携して、お子様を見守る取組**が大切です。

家庭のルールを作る際の心構えを確認しましょう。

- ・お子様と一緒に、**きちんと守れるルール**を作りましょう。
- ・**ルール違反が明確になるルール**を作りましょう。
- ・ルールを**気分だけで運用しない**ようにしましょう。

● ご家庭のルールの具体例

- ・困ったときは**すぐに相談**する。
- ・友達にメールやメッセージのやり取りを**強要**しない。
- ・インターネットを使わない子を**仲間はずれ**にしない。
- ・利用する**場所や時間帯**を決める。
- ・パスワードは**保護者が管理**する。
- ・お金がかかる場合は**事前に相談**する。
- ・**名前、顔写真、学校名**などは書き込まない。
- ・**知らない人のメール**に返信しない。
- ・**ルールを破ったら、一時利用禁止**とする。



● ソーシャルメディアの利用について

ソーシャルメディアは、インターネットにつながる人々がコミュニケーションができる「**公共の場所**」です。また、一度公開した情報はインターネット上に残り、**広がる可能性**があります。

実社会でやっていけないことは、インターネット上でもやってはいけません。お子様が**犯罪の加害者にも被害者にもならない**よう、お子様には、**情報モラル**などを身につけて、**ルールやマナーを守って**利用させましょう。

- ・**個人情報**を書き込まない。
- ・他人を**誹謗中傷**する書き込みをしない。など